

3. 市民意向調査（アンケート調査）

（1）市民意向調査の概要

1）調査の目的

このアンケート調査は「清須市緑の基本計画」の策定にあたり市民の緑に関する意向を把握するために実施しました。

2）調査項目

このアンケート調査票の設問の構成（概要）は以下のとおりです。

- ・ 回答者の属性
- ・ 緑の現状認識について
- ・ 緑の環境施策について
- ・ 緑の環境施策への参加について

3）調査の対象

清須市は、平成 21 年 10 月 1 日に春日町と合併したので、調査は 2 回に分けて実施しました。第 1 回の対象者は合併以前から清須市在住の 20 歳以上の市民に対して、住民基本台帳をもとに 3,000 人を無作為抽出し、調査を行いました。第 2 回の対象者は旧春日町民に対して、第 1 回調査と同様の手法で 500 人を無作為抽出し、調査を行いました。

4）調査期間・調査方法

第 1 回：平成 21 年 9 月 7 日郵送により配布、9 月 20 日を返送期限とし、郵送により回収しました。

第 2 回：平成 21 年 10 月 23 日郵送により配布、11 月 15 日を返送期限とし、郵送により回収しました。

5）回収状況

調査表の有効回収数は 1,612 票で、回収率は 46.1%でした。

回収状況

	配布数（票）	有効回収（票）	回収率（%）
第 1 回	3,000	1,398	46.6
第 2 回	500	214	42.8
市全体	3,500	1,612	46.1

学区内人口に対する有効回収数の割合

(学区内人口：H21.3.31 現在)

小学校区	有効回収(票)	割合(%)	学区内人口(人)	割合(%)
新川	225	14.0	9,125	2.47
星の宮	95	5.9	4,046	2.35
桃栄	113	7.0	5,789	1.95
清洲東	140	8.7	6,625	2.11
清洲	304	18.8	14,786	2.06
西枇杷島	287	17.8	10,033	2.86
古城	139	8.6	7,074	1.96
春日	214	13.3	7,758	2.76
不明	95	5.9	-	-
市全体	1,612.0	100.0	65,236	2.47

春日地区は合併前 H21.4.1 現在の春日町人口です。

「緑」に関する市民意識の概要

= 緑の現状について =

市全域及び身近な緑共に少ないという回答が多く、また、緑が少なくなったという回答も多いことから、緑が不足していると共に、物足りなさを感じている傾向がうかがえます。

市を代表する「緑と水」としては、清洲城のほか、庄内川・新川及び五条川の3河川が多く選ばれており、緑のネットワークを形成するための核として位置づけられます。

= 緑の環境施策について =

「緑」に期待する効果として環境保全やレクリエーションとする回答が多くなっています。また、守りたい・増やしたい「緑」や市街地緑化の重点施策については、公園や緑地の「緑・緑化」に次いで、街路樹など道路の「緑・緑化」という回答が多く、緑のネットワークについての期待が表れています。

公園の整備内容については、休憩・休息場所の整備を望む回答が多くみられ、安らぎ空間としての公園需要の高いことがうかがえます。

= 緑の環境施策への参加について =

緑の環境施策への参加については、時間や期間を自由に選ぶことができるなどの条件が整えば参加するという回答が多く、市民と行政が協働して公園・緑地などの維持管理を行うべきであるという傾向がみられます。

このことは、市民が参加しやすい緑化活動の仕組みを構築することが、清須市の「緑」を保全・整備するために有効であることを示唆しています。

(2) 市民意向調査の結果

1) 回答者の属性

居住地区：「清洲小学校区」の 18.9%、「西枇杷島小学校区」の 17.8%が高い割合となっており、市の中部に位置する「星の宮小学校区」と「桃栄小学校区」の比率が低くなっています。学区内人口に対する回答者数割合は 2%前後となっており、市内全域からほぼ均等に回収されています。

性別：「女」が 56.1%と「男」の 43.1%を上回っています。

年齢：第 1 位は「60代」の 21.2%で、「50代以上」で 57%と半数以上を占めています。

職業：第 1 位は「会社員」の 30.2%、第 2 位は「専業主婦(夫)」の 21.9%で半数以上を占めています。

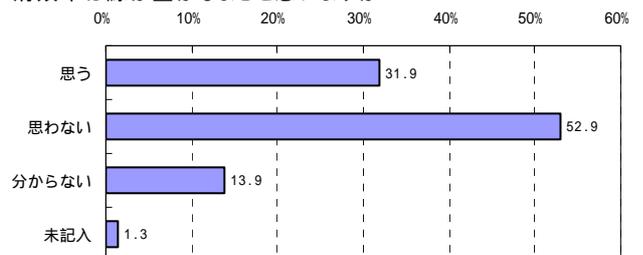
居住年数：第 1 位は「30年以上」の 50.1%で「10年以上」の居住者が 77%以上を占めています。

2) 緑の現状認識について

清須市の緑について、緑が豊かであると回答した市民は 31.9%、そう思わない市民が半数以上を占めており、緑が少ないと思われる状況がうかがえます。

最も緑を多く感じる学区は春日小学校区で、45.3%の人がそう思うと回答しています。逆に最も少ない学区は西枇杷島小学校区の 19.5%であり、学区間で緑の量に対する認識に差があります。

清須市は緑が豊かなまちと思いますか

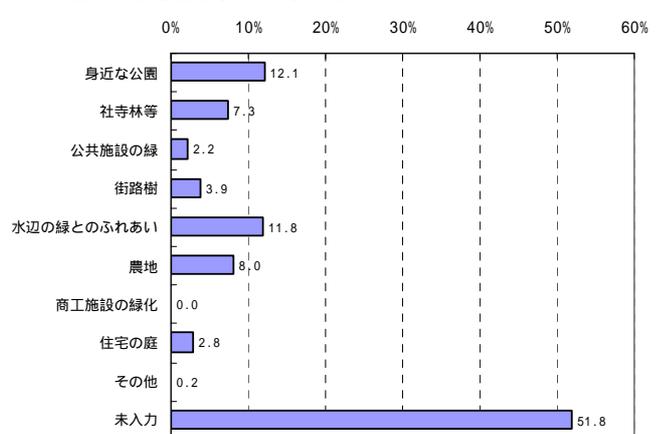


小学校区	思う	思わない	分からない	未記入	合計
新川	24.0	62.7	11.1	2.2	100.0
星の宮	33.7	52.6	11.6	2.1	100.0
桃栄	25.7	61.1	11.5	1.7	100.0
清洲東	34.3	57.1	7.9	0.7	100.0
清洲	40.1	46.4	11.8	1.7	100.0
西枇杷島	19.5	64.5	15.0	1.0	100.0
古城	38.8	47.5	13.7	0.0	100.0
春日	45.3	34.6	20.1	0.0	100.0
未記入	23.2	49.5	24.2	3.1	100.0
合計	31.9	52.9	13.9	1.3	100.0

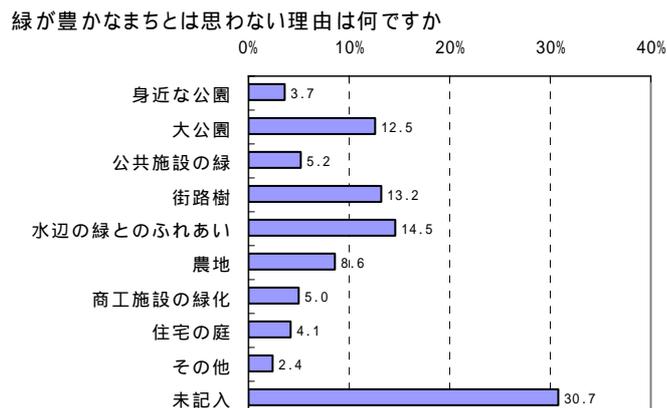
緑が豊かなまちであるという回答では、「身近なところに公園があるから」、「水辺の緑とのふれあう空間があるから」という理由に続いて「社寺林の緑」や「農地の緑」という理由が多くなっており、身近な緑の量が回答に反映される傾向がうかがえます。

しかし、この設問に関しては半数以上の方が無回答であり、漠然とした印象での回答が多くなっています。

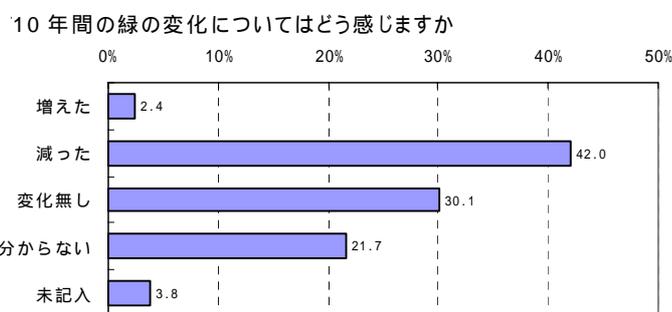
緑が豊かなまちと思う理由は何ですか



緑が豊かなまちと思わない理由としては、「大きな公園がないから」、「街路樹のない道路が多いから」、「水辺の緑とふれあう空間整備ができていないから」という回答が多くみられます。しかし、この設問に関しても3割程度の方が無回答であり、漠然とした印象での回答が多くなっています。

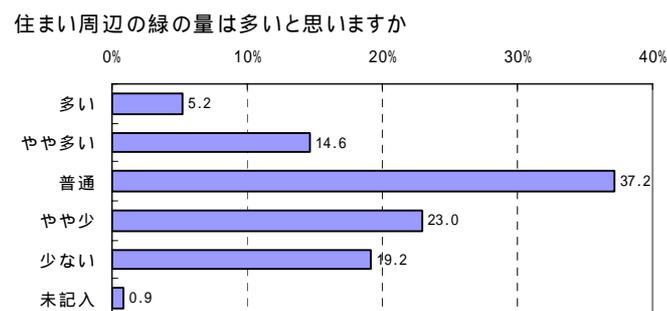


この10年間の変化については、緑が少なくなったと感じる人が42.0%、変わらないと感じる人が30.1%なのに対し、多くなったと感じる人は2.4%に過ぎません。



清須市を代表する緑と水としては、清洲城一帯(649票)が最も記述数が多く、次いで五条川(473票)、庄内川・緑地(209票)、新川(97票)の順となっています。

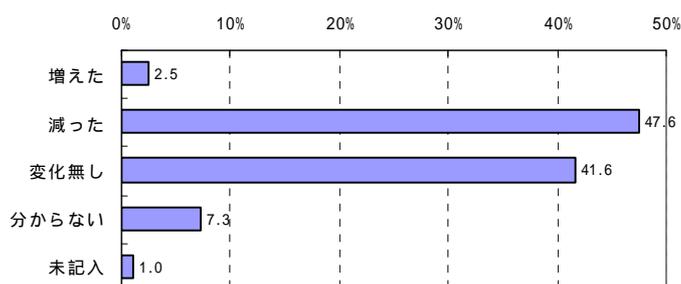
身近な緑の量については多い、やや多いという回答が少ない、やや少ないという回答の半分程度であり、身近な緑についても少ない状況がうかがえます。特に西枇杷島小学校区、新川小学校区ではその傾向が顕著に現れています。春日小学校区では逆の傾向が出ており、緑の豊かな状況がうかがえます。



小学校区	多い	やや多い	普通	やや少ない	少ない	未記入	合計
新川	4.0	12.0	34.7	29.3	19.1	0.9	100.0
星の宮	2.1	23.2	30.5	23.2	20.0	1.0	100.0
桃栄	4.4	12.4	38.1	25.7	19.4	0.0	100.0
清洲東	3.6	17.1	43.6	18.6	17.1	0.0	100.0
清洲	4.9	16.4	37.2	23.4	16.8	1.3	100.0
西枇杷島	1.7	9.1	32.4	27.9	27.5	1.4	100.0
古城	7.9	12.9	39.6	23.7	15.1	0.8	100.0
春日	13.1	20.1	45.8	10.7	10.3	0.0	100.0
未記入	4.2	11.6	31.6	21.1	29.5	2.0	100.0
合計	5.2	14.6	37.2	23.0	19.2	0.8	100.0

身近な緑の量の10年間の変化については全ての学区で減る傾向が強く現れています。

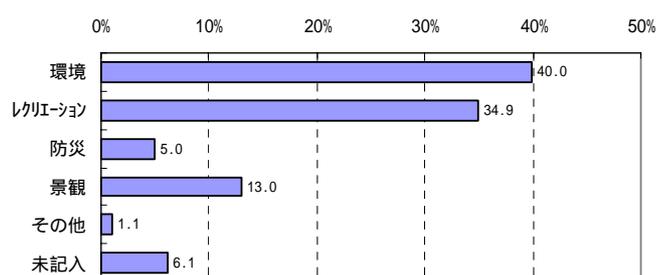
10年間の身近な緑の変化についてはどう感じますか



3) 緑の環境施策について

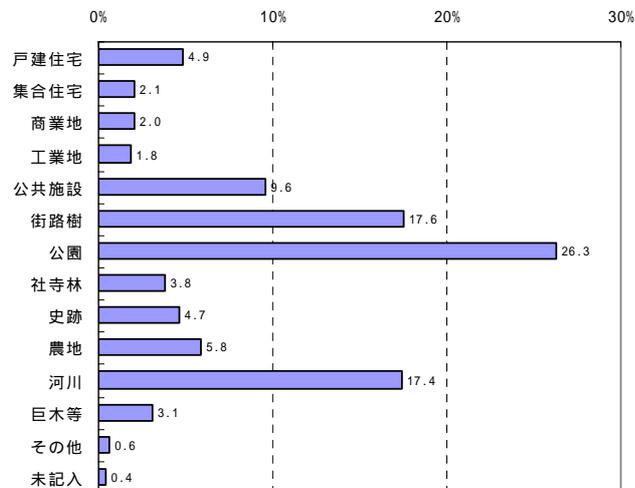
「緑」に期待する効果としては、環境保全やレクリエーション機能への期待が高く、防災機能に期待する効果が低くなっており、防災と緑地との関係についての認識が低いことがうかがえます。

「緑」に期待する効果は何ですか



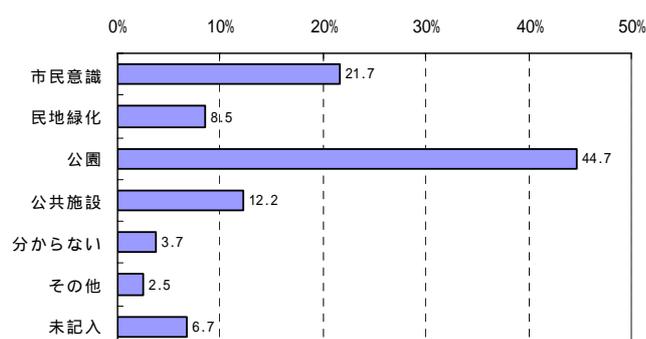
守りたい、増やしたい「緑」としては「公園や緑地の緑」、「街路樹など道路の緑」、「河川や池などの水辺の緑」、「身近な公共施設の緑」の順になっており、公的な緑に対する認識の高いことがうかがえます。

守りたい・増やしたい「緑」は何ですか

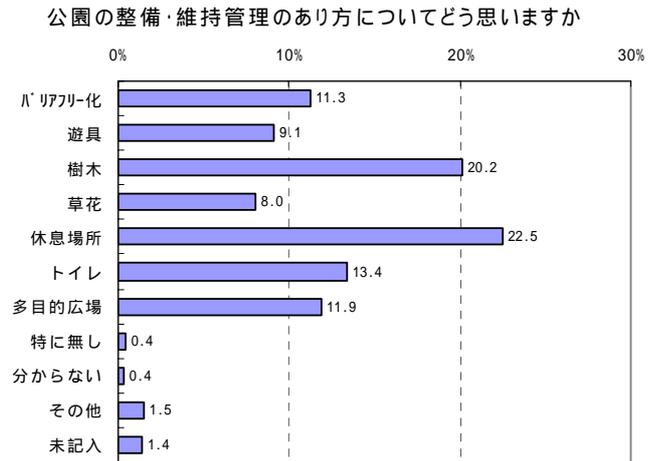


「緑」を守り、増やすための施策については、「公園や緑地を整備・充実させる」という回答が44.7%と半数近くを占めており、続いて「市民の緑化意識や環境意識を高める普及啓発活動を推進する」となっています。緑の施策に対する関心が高いことがうかがえます。

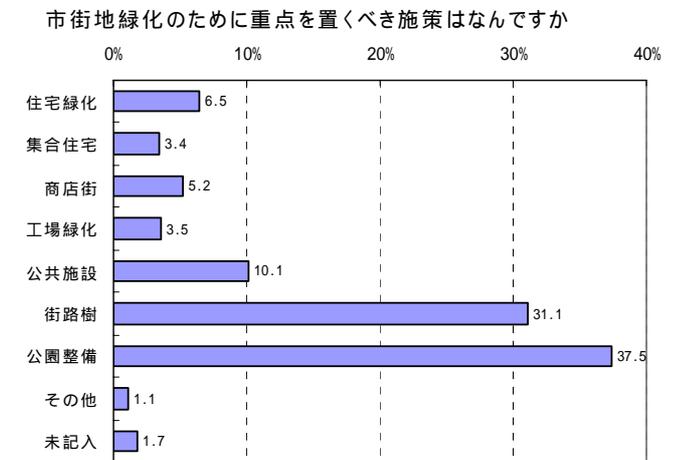
「緑」を守り・増やすために重点をおくべき施策は何ですか



公園の整備・維持管理のあり方については「休憩・休息場所の整備」、「樹木や芝生など緑の充実」を望む回答が多くみられ、安らぎ空間としての公園需要の高いことがうかがえます。

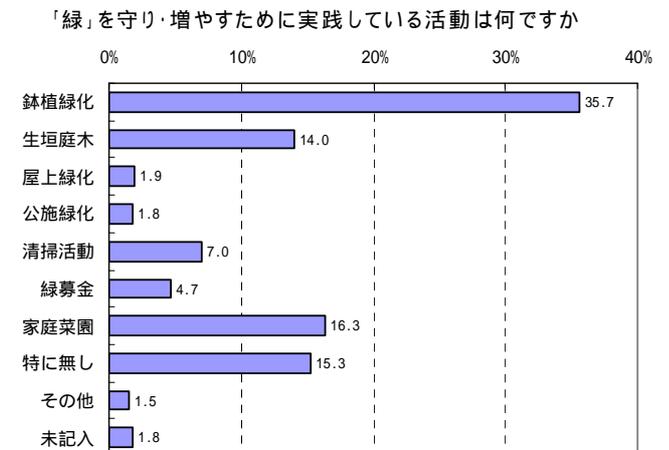


市街地緑化の重点施策については、「公園や緑地の整備充実」、「街路樹など道路の緑化」という回答がそれぞれ 30%を越えており、道路についても緑化要望の高い状況がうかがえます。



4) 緑の環境施策への参加について

「緑」を守り、増やすために実践している活動としては、鉢植緑化や家庭菜園など身近な緑を増やす努力がされていることがうかがえます。また、公共施設の除草清掃活動や募金等への協力についての認識を持っている人がいる一方、無関心の人割合も低くはありません。



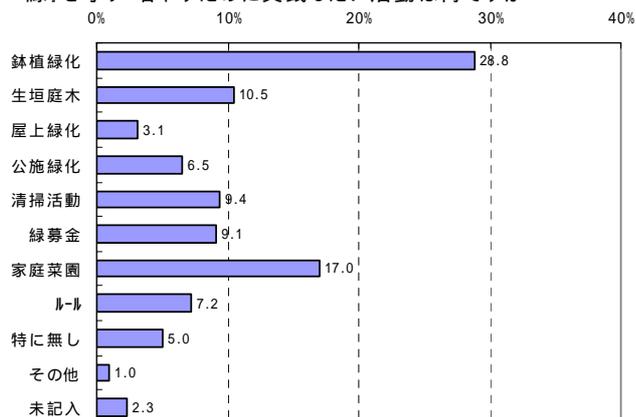
「緑」を守り、増やすために実践したい活動としては、身近な緑を増やす努力に加え、公共施設の除草清掃活動や募金等への協力という回答が前問より増加しています。緑の保全に関するルール作りにも7.2%の人が関心を示しています。

無関心の人割合は前問の半分程度に減っており、きっかけがあれば活動を実践するという人が増加する傾向がうかがえます。

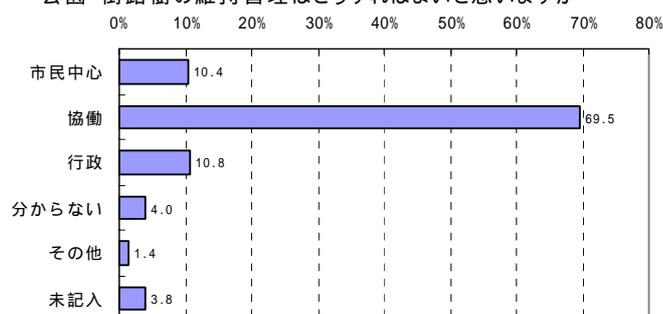
身近な公園の維持管理については、市民中心、全て行政という回答が10%程度なのに対して、市民と行政が協力して行うという回答が70%を占めており、市民の多くが、どちらか一方では適切な管理ができないという感覚を持っていることがうかがえます。

「緑」を守り、増やすための活動に参加する条件としては「時間や期間を自由に選べること」(25.5%)、「参加を呼びかける団体や世話役がいること」(19.4%)、「活動に関する情報を得られること」(19.3%)という回答が多く、活動に参加していただくには、行政による日頃からの情報提供、自治会等を通じた参加要請などが必要であることがうかがえます。

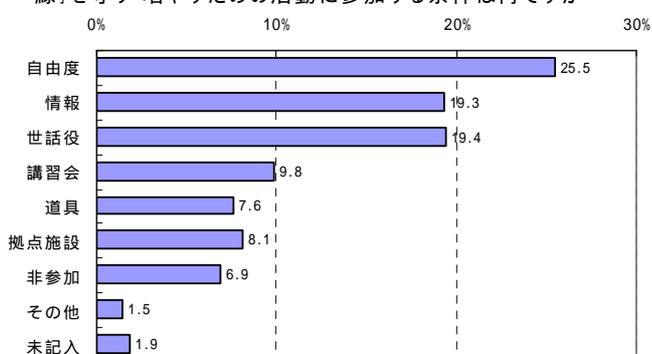
「緑」を守り・増やすために実践したい活動は何ですか



公園・街路樹の維持管理はどうすればよいと思いますか



「緑」を守り・増やすための活動に参加する条件は何ですか



5) 自由回答

自由回答には 590 人に記述していただきました。

記述内容は多岐に亘っており、公共施設（道路、公園、河川等）や民地の緑化に関する意見が約 230 件、公園整備に関する意見や緑化活動に関する意見がそれぞれ約 110 件、河川（水辺地）や道路などの環境整備・保全に関する意見が約 80 件となっています。主な意見（要旨）は以下のとおりです。

（環境整備・保全）

- ・最近防犯のためなどの理由で公園の木が切られたり五条川の桜の木が切られたりする事はとてもさみしい。なんとか大きい木は切らずにいてほしい。
小さい子どもが遊ぶ事ができる公園は市内に点々とあるが、小中学生が遊ぶ事ができる公園・広場はとても少ないと思う。特に旧清洲町地区には球場や運動公園もなく、青少年育成の面から考えても遅れていると思う。小中学生が、小さい子に気をつかうことなくのびのびとサッカーや野球、ソフトボールなどができる場所を造ってほしい。
- ・以前新川の堤防沿いに桜がたくさんあったのが忘れられません。あの美しい風景を復活させることは無理なのでしょうか？
- ・20 年前に比べて木々が減少している。昔は公園で木のぼりやかくれんぼをしたり、田んぼの中で虫や草花で遊んだり、学校の帰りに木の実をとったり、草のおもちゃを作ったり、いろいろ自然を自由に使って遊ぶことができた。今は、公園や河川が中途半端な整備で子どもが自然とふれ合いながら遊べる空間が少ない。
美観だけでなく、できるだけ自然に近い環境を残してほしい。
- ・堤防や学校の回りの大きな桜の木がなくなり残念。もっと（シルバー）ボランティアで花一杯に。緑や花のきれいな所にはゴミも捨てないはずです。
- ・新川が非常に汚れています。川が汚いと街全体も汚れてみえます。自分は地方の出身であるため新川の汚さを見るたびに（通勤時に毎日見ますが）心が痛みます。川自体の清掃活動をしませんか？
- ・昔に比べて、清須市の空気はずいぶん悪くなったと思います。窓をあけていても、異常な臭いがするので、不快に感じるがあります。やはり、緑もあまりないので空気が汚れてしまっているのではないかと思います。これを機に、一度考えていただければと思っております。
- ・市で緑を多くして落ち着いた場所を作るには、先ずは（水辺）川辺が美しくありたいと思いますが新川等は水が汚くヘドロがいっぱいです。先ずは川を美しいものにして、水辺でくつろげる場所を作るといいです。そこに緑があれば最高です。

- ・せっかく庄内川・新川・五条川と3本も川が流れているのだから、それを生かして緑を増やしてほしい。川の周りにウォーキングコース・サイクリングコースを造る。
- ・五条川堤防の草木をもっときれいに手をいれ、ゴミを捨てなくしてほしい。きれいにするイベントがあれば参画したい。

(緑化)

- ・かつて、五条川は桜の花の時期は名所になっていた。今は殺風景な何の印象も与えない場所になってしまっていて、誠に残念。五条川は上流の市町村では桜が満開になってすばらしい。清須市は、将来のためにも、この地域の緑化を真剣に考えるべきではないか？
- ・保育園や学校に積極的に緑のカーテンを作る。街路樹の手入れをしっかりと行き、ただ緑があるだけでなくキレイな町並みにする。
- ・河川の水辺スペースを利用してもっともっと緑を増やしてほしい。(特に五条川)
- ・名鉄新清洲駅前やJR清洲駅前の商店街周辺など、緑があまりに少なすぎるように思います。公園以外に緑らしい緑がほとんどない市だと思います。街(町)を歩いてみようという気がおこりません。
- ・清須市内7つの小学校の校庭を芝生で覆う。芝生を植える際に小学校の児童・地域の人々が中心になって行うことで、緑を育てるという意識が大きくなるのではないかと。市内に点在する大規模事業所に対しても緑地面積の拡大に協力してもらおう。具体的には、工場全体をツタで覆うなど。
- ・貝塚資料館の公園は木がうっそうとして公園内も雑草だらけなので昼間でも入るのをためらってしまいます。新しく資料館を建設するために買収した土地も、ほとんどが利用されず空き地になったままなのでもったいないです。清洲城から貝塚公園まで遊歩道を作り清洲城を見学に来た人に足を運んでもらえるような公園になると良いと思います。貝塚公園が整備されれば地域の人でもウォーキングコースに入れるなどして利用すると思います。
- ・緑は心のいやしとなるので、大変かとは思いますが増やすよう心がけて欲しい。アンケートの中にも、場所であげたのですが市役所のそばの橋にチューリップ etc が植えてあったのを見た時は心いやされました。花 etc の管理は手間、金銭面がかかりますが、私にとっては今後も続けてもらいたいと思っています。可能であれば緑のロード、花のロードを作ってもらい、あ~キレイ!!と心うばわれる名所ができるといいです。

- ・名古屋市方面から清須市に入る道路でいつも感じるのは殺風景な街だなと思う。道路に緑が少ないせいと思う。住み良い街、感じがいいなと思う街を目指しもっと緑を増やして欲しい。
- ・私の住んでいる阿原地区は特に緑が少ない様に感じます。思い当たる所と言えば神社くらいの様な…。積極的に街路樹を植える活動をして欲しいです。
- ・私の住んでいる地区は道路の道幅が狭く、緑のスペースを作るのは難しいと思うが、広い道路に街路樹や草花があると街が潤うと思います。また、線路際や駅も緑化をすすめるといいと思います。
- ・市内は比較的狭い道路が多いため、あとから街路樹などの緑化が難しい面がある。現在建設中の道路には是非取組み強化をお願いしたい。(JR 枇杷島駅横断道路等)

(公園整備)

- ・清須市には庄内川や新川など、川が多いので河川敷に緑地公園があれば良いなと思います。近くにはそういった大きな公園が無いので、犬山や138タワーパーク、扶桑緑地など木曽川の方まで子どもを遊ばせに行くこともしばしばあります。住んでいる清須市にも広い緑地公園があり子どもが遊べる遊具もあれば子どもとの緑に対する接しかたも変わってくると思います。広い公園で伸び伸びと子どもを遊ばせたいと思っているママ達はたくさん居ます。新川沿いの緑も、もっとたくさんあった方が良くと思います。
- ・キャッチボールができるような広場が欲しい。五条川沿いをたまに散歩するので、清洲公園に屋根付きのイスがほしい。
- ・公園にもっと木々を増し、木陰を作り、子どもや老人が遊びや休憩が出来る環境を作りやすい生活空間を作ってください。
- ・清須市にも庄内緑地公園のようにもっと森や芝生などが有る公園が1つ位はあった方が良くと思います。
- ・大きな公園等は手入れも行き届いていますが、中小の公園は折角花壇があっても花が植えられていなかったりします。もう少し整備に力を入れて頂きたいと思っています。
- ・五条川などの水辺の緑をもっと整備し、公園や散歩コースなどを作ってほしい。木々を多くし、木陰を増やし休憩できる場所・癒しのスポットを多く作ってほしい。街中でも、少し田舎の雰囲気味わえるようなまるで高原や森の中に居るような場所があったらうれしい。緑地公園のような広い芝生広場があったらいいと思う。

- ・「白い街名古屋」以上に緑が少ない。清須市内の道路幅は狭く、街路樹は夢の夢。せめて多目的公園や広場などの施設の緑地を充実するしかないのでは？
- ・西枇杷島には本当に公園が少なく、遊具も危ないものも多く古いのか、さびていたり、点検をしていないように感じます。小さなブランコしかないような公園も普段は草がぼうぼうで見苦しいです。大きな公園も町によってバラバラで新川町には比較的そろっているように感じます。合併したので期待したのですが残念です。みずとびあももっと整備し、子どもにやさしい遊具などもあれば緑と水と含め子育て支援に大いに役立つと思います。子どもに緑を感じさせることが少ない市だと思います。将来の子どもたちのためにももっと整備してほしいです。
- ・当地区には猫の額ほどの公園が存在しますが、市民が散歩やジョギングするような場所は殆んどありません。1～2ヶ所でも家族やグループで利用出来る緑豊かな公園を作って下さい。孫が訪ねて来ても連れて行く所がありません。
- ・清須市で暮らし始めて2年が経ちました。名古屋市から近いのに、田んぼや畑の緑が多くて、のどかな感じがして落ち着きます。このような風景がずっと守られていければいいのと思っています。清洲城以外に1つ大きくて市民が車でわざわざ行きたいなと思える公園があるとうれしいです。

(市民参加)

- ・もし緑を増やすのであれば、子どもを参加させる方向でお願いしたいです。卒業時に木を植えるだけでなく、公園や街頭に自分達の手で花や木を植えさせて、自分達の成長と共に、町が変わっていく様子を実感させてあげる機会が必要だと思います。どんなに行政と市民が協力し合っても、全て大人がやっしまえば、子どもにとっては「所詮他人事」で終わってしまいます。緑も子どもも、町の未来をつくる財産であるのなら、どうかふれあう機会をあげて下さい。
- ・身近な川が汚れているので住民一人一人が汚さない様にして、半年に一度か一年に一度住民が参加してきれいな川作りを計画する様に、と思います。
- ・市のHPなどで身近に行えるガーデニングや壁面緑化の例などを紹介できないでしょうか？子どものうちに緑の大切さを教える事も必要だと思います。小学校単位で植樹などを行えると良いと思います。
- ・家庭で緑を増やしたいと思っても苗を購入できる場所が少なく(私が知らないだけかもしれませんが...)種類も限られているので、苗の直売とかがあるととっても気軽に緑化に取り組めると思います。又、苗を購入できる場所等の情報などをたくさん教えてもらえるとうれしいです。

- ・例えば町内会毎(それよりももう少し大きいブロックでも良い)にシンボルツリー、フラワーを決めて、その町内の道路や公園などにたくさん植える。そうする事によってその住民に自分達の樹や花を印象づけ、町内イコールコスモス町内会とかルピナス町内会などと町内会の正式名称以外にニックネームをつける。市内のあちこちで四季の花が咲くようになり、今月はさくら草町内会が見ごろだと、来月はつつじ町内会だねと一年中どこかの町内会できれいな花を愛でることが出来、ベンチや木陰を整備して花をながめながらゆっくり休憩できる空間もあわせて作っていくと楽しいと思います。
- ・子どもが小さいので、公園清掃や緑化作業があってもなかなか参加できません。子どもと一緒に出来る活動などあればいいです。
- ・3町が市になってから合同のイベント等が少ないので、緑の環境を基礎とした合同のイベントが出来たらいいと思う。
- ・公園の清掃など市民が積極的に参加できる運動・活動などを行政が支援していく。(年1~2回市民全体清掃などもっと街全体を清掃する活動をする)参加した人に参加賞など特典をつけたりすると効果的。ただ緑を増やすという単純な発想ではなく、街をきれいにすることによって緑が際立つと思う。
- ・市の木である桜・花水木、市の花のチューリップを知らない市民が多いと思います。アンケートで選んだこれらの木や花をもっと積極的に市民にアピールし、植樹したらどうかと考えます。また、イベント時に市民にチューリップの球根を配布して自宅や公園等に植えてもらえばと思います。増やす事も必要ですが今ある緑を守る事も大切です。大気汚染等1人ひとりが環境についてよく考えねばと感じます。

(その他)

- ・住宅の生垣が繁って道路までせり出し、見通しが悪くて自動車や歩行者が危ないと思います。とくに自動車がよく通る道路など生垣が道路まで出ない様に住む人が気を付けてほしいとつくづく思っています。
- ・一部分の地区では実施されていますが、公園、公共施設、神社、寺院等の植木には名札があると興味が増すのではなかろうか？ 又、常緑樹か落葉樹か、植木の特徴は等、加えられるとなお良いと思います。